

<測定方法> 両足部床設置 (測定開始) ⇒FR倒す⇒足部をのせる⇒足部を下す⇒FRを立てる (測定終了)

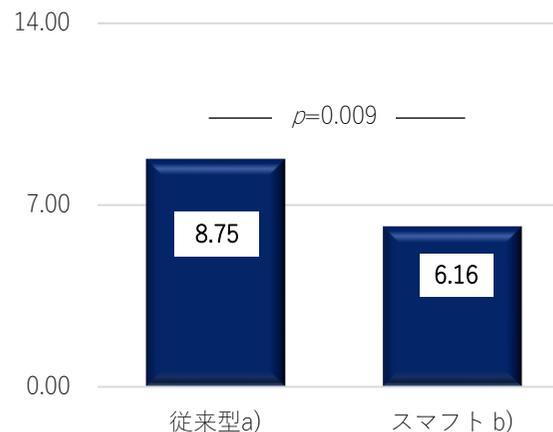
※事前にデモ実施後測定

※測定は2回 (最小値)

性別	年齢	介護度	疾患名	通常の操作方法	従来型a)	スマフト b)	(a)-(b)	使用したいですか？
女性	100歳代	1	右脛骨開放骨折	主に下肢で行う	9.00	5.69	3.31	○
女性	80歳代	1	椎体圧迫骨折	下肢で行う	8.50	6.00	2.50	○
女性	90歳代	3	廃用症候群	下肢で行う	13.03	11.31	1.72	○
女性	90歳代	1	変形性脊椎症	下肢で行う	7.96	6.31	1.65	○
中央値(秒)					8.75	6.16		

<利用者の主観>

- ・下ろすのも、上げるのも楽でした (特に跳ね上げ)
- ・力がいらなかった
- ・速くて軽い 足をあまり動かさなくて良かった
- ・手を使わなくていいから良いです
- ・「楽やね」 足を上げないから腰も楽です



<担当PT/OTの意見>

- ・FRを上げる動作に時間がかかるが スマートFRを使用すると跳ね上げの動作が速く、下肢筋力が弱い方でも楽に行うことができます
- ・手を使用する必要がなくなるため、腰痛を誘発しにくくなると思います
- ・衛生的です
- ・介助で行う際に介助者が屈まなくてよいため、腰痛軽減に繋がると思います
- ・スマートFRを踏んで倒す際、踏む位置によってやや時間を要しました